

財政統計の充実

利用者の利便性や、国際比較にも資するため、財政統計の充実を行った。

1. 財政統計に関する国際基準となっている、IMFの「政府財政統計(GFS)マニュアル2001」に沿った、一般政府の部門別勘定の公表(フロー編付表6-2)

一般政府部門の実物フロー取引について、GFSマニュアルが定義する、「収入」、「支出」、「業務収支」等の従来よりも詳細な項目を集計

(兆円)

年度	2005 (平成17)	2006 (平成18)	2007 (平成19)	2008 (平成20)	2009 (平成21)	2010 (平成22)
収入	220.0	235.2	223.7	227.1	219.9	220.3
支出	234.7	234.3	233.9	241.1	258.8	258.5
純業務収支 (収入-支出)	▲ 14.7	0.9	▲ 10.2	▲ 14.0	▲ 38.8	▲ 38.3
総業務収支 (収入-支出(固定資本減耗を除く))	▲ 0.8	15.0	4.1	0.5	▲ 24.4	▲ 23.9
非金融資産の純取得	6.2	4.6	3.3	2.5	4.1	2.4
純貸出(+)/純借入(-)	▲ 20.9	▲ 3.6	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 42.9	▲ 40.7

2. 一般政府の機能別支出の細分化(フロー編付表7、8)

国際連合が定める政府の機能分類(Classification of the Functions of Government: cofog)について、従来は大項目(top level: 10分類)まで分割していたところ、より詳細な分類(計69分類)にまで分割